

貴船だより

開校記念特別号

令和3年2月22日発行 特別号
大田区立大森第一小学校
校長 尾上 健二

—健康で安全な生活ができる子—おもいやりがあり仲よく助け合う子—自ら考え行動する子—

祝 開校 146周年 海苔づくりと私達の大森

第35代校長 尾上 健二

先日、地域の横山さんよりジオラマをいただきました。海苔を乾かす、束ねる、当時の海苔づくりの様子が細部にわたって再現されています。大森では馴染みの風景だったことがうかがえます。ジオラマは海苔の資料室に展示してあります。海苔づくりと私達の大森、どんなつながりがあるのでしょうか。



先日の全校朝会で次のような話をしました。

「2月5日（金）の給食では、板海苔がおかずで提供されました。大田区内の多くの学校で子供たちが給食で海苔を食べました。それは2月6日が海苔の日だからです。全国海苔生産協同組合が昭和41年にこの日を「海苔の日」と制定したのです。なぜこの日が海苔の日となったのでしょうか。その昔、人々は税として米、布、地域の特産物を収めていました。海苔も地域の特産物として収められていました。当時の海苔は不老長寿の薬草として大変貴重なものとされていました。時代は変わり、江戸時代には現在の品川、大森で海苔作りが盛んに行われるようになりました。生産した海苔は将軍に献上されました。たくさん生産されるようになり、町の人々の手に渡るようになったのもこの頃です。紙すきの技術を使って板海苔が作られるようになると江戸っ子の間で巻き寿司が大流行して板海苔が広まりました。現在の大一小の周りには、海苔のお店がいくつもありますね。また、この地域には以前、海苔の養殖をしていた方がたくさん住んでいらっしゃいました。その方たちから譲り受けた海苔作りに使う道具が、1階の海苔の資料室に展示されています。興味のある人はぜひ見てください。」

この全校朝会の話の翌日、3年生の社会科の授業をのぞくと「大田区のうつりかわり」の学習をしていました。子供たちが見ている資料は「朝学の歌」です。子供たちにとって歌詞の言葉は難しかったようです。担任の先生に馴染みのない言葉の説明をしてもらいながら、当時の子供たちの生活、学校生活の様子を想像していました。「凍れるみ空 月のもとってどういう意味かな。寒かったのかな。朝暗いうちから仕事をしていたのかな。」海苔作りに取り組む人々の生活を想像し、「昔の大一小の子供たちはお家の手伝いをしながら、勉強していたのかな。」と今の自分たちの生活と比べながら感想を書いています。何気なく食べている海苔、地域にある海苔商店、子供たちの疑問は少しずつつながり、課題意識が膨らんでいきました。

例年、1月下旬には本校の子供たちは海苔付け体験をします。今年は新型コロナウイルス感染症予防、緊急事態宣言下ということで延期しました。

写真は昨年1月に本校で海苔付け体験を行ったときのものです。講師は地域の元海苔漁師の皆さんです。

海苔を均一に広げる難しさを体験しながら、自分の海苔ができました。そして乾いた海苔を家に持ち帰って食べました。感想を聞くと、どの子も美味しかったと言っていました。貴重な体験です。



本校の子供たちは、地域の歴史を体験的に学ぶ機会にたくさん恵まれています。これからも地域素材を学習に取り入れ、地域に学ぶ子、地域を愛する子を育てていくことを目指した教育活動に取り組んでまいります。それには地域の皆様のお力添えが欠かせません。今後とも学校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

『開校記念集会』の開催に向けて

特別活動部 梅川 颯太

「大森第一小学校 開校146周年記念児童集会」を、2月17日（水）に開催予定でしたが、緊急事態宣言を受け、今年度は3月11日（木）に延期となりました。

集会に向けて、現在代表委員会では、これまでの発表内容を一新しようと考え、計画を進めています。昨年度までの発表にもあった、大森第一小学校の移り変わり、歴史を感じる写真などは残し、今年度は代表委員の児童が考えた「大森第一小学校の伝統」「大森第一小学校の過去と今の違い」をテーマに、発表スライドや写真を、校内を調べたり、取材したりしながら発表の準備を進めています。

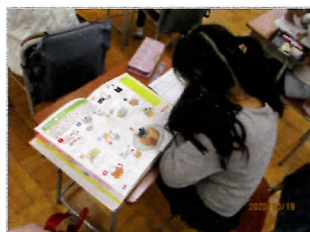
大森第一小のクラブ活動を紹介します



裏面にも続きます。児童のみなさんは、来年度のクラブ活動の参考にしましょう！

調理クラブ

自分たちのおすすめレシピを一人一人丁寧に書きました。みんなで作った作品を一冊にまとめ、素敵なレシピ本にしました。今年は、例年とは違った活動になりましたが、自分たちで取り組みたい活動内容を考え、楽しみながら活動しています。



かがく
科学クラブ

今年度初めに、どのような実験をしたいのか、みんなで話し合い、活動内容を決めました。理科の授業では体験できないようなガスバーナーを使った実験や雲を作るようなおもしろい実験などもやろうと計画しています。けがや事故にも注意しながら、みんなで協力して楽しく実験をしています。



こうてい
校庭(ボール)クラブ

1年間の活動内容を決める話し合いから始まり、サッカー、ドッチボール、テニカなど、いろいろなスポーツに取り組んでいます。校庭の半面を使い、学年を超えてボールを使った運動に親しみながら活動しています。



メディアクラブ

タイピングの練習から始まり、イラスト、カレンダー、パラパラ漫画、写真や動画の撮影、プログラミングなど、毎年様々なことに挑戦しています。1人1台タブレットが使えるので、互いに教えあったり、作品を鑑賞しあったりしながら楽しく活動しています。



ずこう
図工クラブ

今年が陶芸を行いました。土粘土を使って器を作り、削って形を整え、ゆう薬をかけて実際に使えるようにしました。他にもスライムで絵を描く、グラスアートなど様々な活動をしています。自分たちで考えて、やりたいことができるので、授業とは違った楽しみがあります。他学年と交流しながら、得意分野を生かして教え合って活動しています。



たつきゅう
卓球・バスケットボールクラブ

6年生が練習メニューを考えて、主体的に活動しています。『卓球』は、ラリーの練習、シングルスやダブルスのゲームに取り組んでいます。『バスケットボール』は、4, 5, 6年の混合チームをつくり、試合の中でパス・ドリブル・シュートの技術を上げています。



ソフトバレー・バドミントンクラブ

ソフトバレーとバドミントンを隔週で行っています。ソフトバレーの日には、チームでパスの練習やゲームを行っています。4~6年生混合のチームなので、声を掛け合い、協力しながら活動しています。バドミントンの日にはペアをつくり、ラリーを楽しんでいます。回を重ねるごとに、上達する姿が見られます。



まんが
漫画イラストクラブ

自分のオリジナルキャラクターをイラストにする活動から始まり、キャラクターの名前や特徴を考えたり、四コマ漫画を作ったり、毎時間集中して楽しく取り組んでいます。友達の間で作品を見合っ交流し、仲良く活動しています。漫画や動物の描き方などの資料を見ながら、イラストの技術も上げています。



こうてい りくじょう
校庭(陸上)クラブ

陸上クラブは、自分たちで活動計画を考え、走ったり、跳んだりと様々な種目に取り組んでいます。笑顔あふれる表情からも、体を動かすことが好きな子供たちにとって、楽しい時間になっています。

